

蒲生干潟の地形調査93 2024年2月

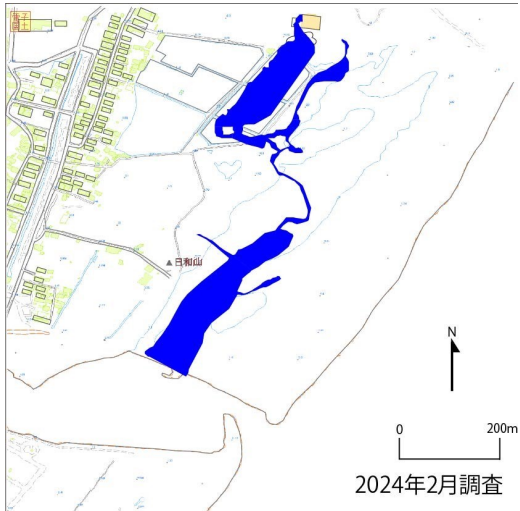


Fig.1 GPS簡易測量結果



Fig.2 潟湖全体の様子（南側からドローン撮影）



Fig.3 潟湖中央部（ドローン撮影）



Fig.4 潟湖北部（ドローン撮影）



Fig.5 七北田川河口右岸砂州



Fig.6 七北田川河口右岸砂州（ドローン撮影）

調査日 2024年2月20日（火）13:00～14:30 ※満潮時刻11:05（潮位120cm） 干潮時刻19:52（潮位22cm）

Fig.1は、GPS簡易測量による2月20日の汀線である。今回の調査では、潟湖全体の水量は少なく、潟湖中央部は干上がっていた（Fig.3）。潟湖北部では、流路が狭くなっている箇所も見られた（Fig.4□部）。潟湖最北部の潟湖は出現していた。七北田川河口付近では、右岸砂州が大きく張り出し、内陸側を向いた形となっていた（Fig.5, Fig.6）。

（門脇 駿）